

六月二十一日(第五回)

一、開議及び散会時刻(午前十時三十分～午後四時十三分)

二、出席議員名次を通り下さる。

議席代	名	議席代	名
一番	仲村春正	九番	米須清祐
二番	佐喜眞慎祐	三番	天久盛雄
四番	中山勝豊	四番	大山伊太洋
五番	安里良朝	五番	安次富益信
六番	崎間健一	六番	稻嶺謙三
七番	松本利宣	七番	吉里敏行
八番	知花正大	八番	山本朝徳

三、欠席議員なし

四、市町村自治法等第十二条の規定により、會議事項説明を次

出席して、もとより、次々通りである。

村長仲村春勝 助役吳屋貞徳 収役仲村春松  
経済課長澤此安一 財政課長滝田山全  
運課課長桑江良徳 水道課長奥里將俊

五、本會議の書類は次の通りである。

幸沢三郎 杉川正義 曹記 藤屋義・伊藤正義

六、議事日程は次の通りである。

日程第一 議事予定の件 村公設市場の設置につき  
日程第二 陳情第一号 並びに天門市汁面地内、村道アスフルト舗装方針請願につき  
日程第三 陳情第二号 五角形地盤並びに三十坪地床側歩道設置工事  
日程第四 陳情第三号 宮立保養水道工事へ補助金交付申請書下につき

七 會議・顕未

議長出席十二名であります。本町村自治法第53条の規定により議会開設を許します。只今より

議会を開くことに即ち了り。

(午前十時三十分)

日程第一議案第十一村公設市場設置につき(

議題とし即ち了り。

本年六月二十日、本會議に於いて(建設委員会に付託)上審査を終了し、了りました。別紙三通り

経工委員会より報告書が附してありまつり。

書記より詮議せられました。

二、経工委員会の報告書を承ります。

経工委員会は六月十三日、本會議に於いて、当季の貿易に付託され、本年六月二十日、經濟課(ひく)に於いて、當市と求めた検査小委員會(ひかん)が、別紙三通り

通りであります。尚ほ詳しことに付して貿易に

向けていたと因みます。

議長 二番の出席を報告します。

質疑に入ります。

二番 何か質問を有するかと、内容の達成度は如何

がござります。

三番 内容の達成度は如何せん。額面が達成度

当初は一千九百五十円を予定したが現在では木材の値上がり

一千九百四十円を予定する。

一三番	五 ドルを実に貰ふと證明被ります
一五番	当初は一千ドル位を予想してありましたが、物価の変動により一千八百ドルとあっております
一五番	一千八百ドルは計画目標額であります。一千八百ドルは設計工事費であります。
議長	八番の出席者を報酬料一千八百ドル
二一番	賃料は百八十円で償還金をかねが、年間はどうぐ 八・九%位に付せらるべと因る。
議長	八番の出席者を報酬料一千八百ドル
二一番	賃料は百八十円で償還金をかねが、年間はどうぐ 八・九%位に付せらるべと因る。
議長	八番の賃料は二百円につき一千五百円の使用者に支拂ふ 手始めが、
議長	最初のうち持すようにとふと後で困ると思ふが、
議長	三月は農業生産市場を対象にして、わざりで一千八百 円の賃料を支拂ふが、翌年から改定ひきります。
八番	修理費一五ドルは少しごくつに思ふが、
議長	三月はつまりして資料料五千が、翌年から改定ひきります。
一三番	八番の賃料は二百円でとおもふ意味付帶一筆の内にあ るが、
議長	満了後は賃料より以下で落札して得る。残金が八千円
一三番	これまで設立してから二年と、又おきゆれば財源を 求めて設立するまつたが、それともう少しもしくおきゆるま で、
一三番	貯金は一千八仙と出てます。どう基盤
	つづく 次回明記

議長	我々が地主町の市場や相手にて運営貿易並びに過日大 向當りの家賃等を命じて打出してある あり程度打出と申がれど國の公益の場合直上すと 口不可能だと思つて最怕一〇帖ヒテ身
議長	十一番り出席を報ひテ 休憩致一三四九(午前十時三十五分)
議長	復題打切りガタクナリミナシ
議長	異議あしと呼バカタクナシ
議長	御異議がおうて復題を打切ることに致シテ 討論を求メテ
議長	卒業は前々議合にカラツモ詔向とて提出エキテ 数々的旨未だ検討する必要ナガリナシル様
議長	ハニコロニテは前々に可能既定と因ムナシナリテ に賛成成ル一三四九
議長	議会意志がうて平場の設置を四月三日に一七 ニ申付シテは前々に可能既定と因ムナシナリテ に賛成成ル一三四九
議長	今までは堅實ふる株算一ヶと申と因ムナシナリ 今までは針とて有會を無料で申すとあるシテ 取扱いは別とて申付の条例を作成場合取 扱いと申すと申すと申すと申すと申すと申す て平場の設置は既定成ル一三四九
議長	外に外り申せんが、たけやが済用を打つ事ナシと申すが 田舎者申せんが、ハニコロ申すと申すと申すと申すと申す
議長	御異議がおうて討論を打切ることに致シテ

議  
三

議案第三十一号十七表提出付上

要議がレヒト呼べ(全員)

傍興議があつて講義才二十四年一月公設市場を  
設置すと、原主通り可決せし物一様す。  
日程オニ陳情オニ平一並日天向、都下計画地内、村道の  
アスフル下、舗装せし陳情にフシテ、議題と致一ヨナ。

午年十二月には、終工委員会に付託の上、審査を経  
り、別紙(通)「終工季節合意」が、別紙(通)「終

四十日後、アーヴィングは「アーヴィングの死」を著す。

経工事の貢呈の報告を求めておられます。六月十九日午後二時半より当委員会

に付託され、本年六月に對し六月十六日陳情者より出でて、  
と水の十萬石から審査本立つた結果、別訴委員会報生を書

尚詳いニセドラクハ皆様ク貞疑にガ答ミテ

復縫に入りました。場合、縫足はいかが

季節食などは年次的にやさと/orであります。実際は問題であります。

賊源にラムを證明してある。したが  
て、長程の間隔はあつては不可能で、日暮りで、特許の財源で

れうでやうもんをと

八番	六ヶ市町村とはどどどが、
七番	那爾カザ石川名護平良石垣ひかります、 軍とその町村口対象なればりが、牛村の場合に市 にあらはすく、軍からに付添て実現を計 もうひとと重複してターミナス。
一一番	以前の普天可の申請情がありて、村に都計、移官が少 されでと因るが、
二一番	又村が都計、一體として当然道路の補修を引きずべき だと因るが、
三一番	都計に関連する基本施設につきは、村がやるべきである と思ふが、どうか一回して進めてみる。
四番	建設課は現在ケヨロ天向う場合、ある程度基本施設はしてあるが 余分地の決定を自分で車両未計画をつけてやつてこま で、ビルの跡つてアリテナリ。
五番	前に移官されで場合、(余分地が相当あるとおぼて て)ビルの跡つてアリテナリ。
六番	未だ引継ぎは一つおりません、地域の決定で一 度問題が生じたことがあります。
七番	新木課長(土木課長)の問題が生じたことがあります。

議長	再開致します
一三番	委員会としては基本施設を10にてアスフルト舗装して先にすとおがニとで口かく特殊財源をボウトヤムカウセシと一ガレ基本施設をすにも五ヶ年から3とケーモで少し二ヶ陳情は六ヶ年10にて施行へ出来がりと思ふが、経費も長さ下ロサイリミナ人材、財源がある場合には、この中で、
一三番	も振り向ケミシカの状況でと恩づケテ
建設議長	当局としては基本施設で五ヶ年一ヶ年とケニシでアシガ地域を決定すれば、(くま地)ますや財源も出で来3ケ下り、それでも可能だと恩づケテ。
議長	休憩約一時間(午後十一時一五分)
一三番	用前約一ノナ(午後十一時二十五分)
経費	村道は既定されて年月日は記入するが、
建設議長	大正九年一月十日でターミナス
議長	大体實向むつて様式ターミナスが、付記を打切
	フジシングヒン方
	田舎議あレヒリカカシウ
	"御審議がターミナス付記を打切ニシテ
	計師ハメテ
一三番	委員会本ロ賛成でターミナス
	普天間ロ都キターミナス付記を打切ニシテ
	道筋をアスフルト舗装するに口恩づケテ
	しかし基本施設をすにも五ヶ年から3とケモでア
	3レ、こク陳情を採決す、12日、特殊財源を

八 番	季の会本に不賛成でサードミーティング	されれば不可能であると。
	都汁を推進するよりアスフルトを敷くには困難は ありが、財源が確保されずして、やりが施行は難い。 季の会にありますもつと検討が余地があると思ふ。	しかし当局が軍政行を手に涉入特殊販売を得る と、又、地代の設定をするに至ります。(未分地)が出来 るので可能だと思ふ。賛成が一票です。
議 長	議題を取り入れて採決するには、今何の問題 か十支障をまずすと想ふ。まず第一に、本陳情 を採決するに不賛成である。	討論を大切にさしつけ 異議あらへよがからう。
	御異議があらへよがからう。	午前会を始め決議する。
	季の会本に賛成者、举手	举手してある(三名)多くに三分、陳情書=〇一 回都下汁田内、村道アスフルト舗装する陳情 につき季の会本通り採決するに決定改
議 長	休憩第一回(午後十一時二十分)	三
	再開第一回(午後二時四十分)	三
"	白程十三陳情(三十一五〇十件並び=〇一=十 歩道、改修の方陳情)につき本議題	三

議長

平素本会にては、経工委員会に付託の上、審査をお願いしてあります。が別紙通り、経工委員会より報告書が今後定期的にあります。

書類をもて調査せらる。

経工委員長役を報告を求める。

経工委員長

車本に付けては、太田十二月、本会議にありて、当審員会に付託され、大月十六日に陳情者の出席を求めて、慎重なる審査の結果、別途委員会報告書を書き、通

し合せあります。

尚詳しことに付しては、皆様の御質疑に応じて、

と思つておられます。

議長

質疑に入ります。

一三番 質疑には出来ませんので、タリーチ月下が

歩道を設置するにはどうなう経費を算出する。

又歩道を設置するにによって、立地しきりばあらふ

建物はぶりかどらん。

経費

経費一個につき、ガッタ一付で、二、七二二円ほどと天

建築物につき、ガッタ一付で、タリーチ月下。

一三番 三米位につき、建物につき、ニ付はあります。

建築費につき、建物につき、布令一七〇一で規制されており

ます。さて問題はタリーチ月下。

額はあります。たゞにやまとと、セニニ耳にがくと

思つてあります。たゞにやまとと、セニニ耳にがくと

作も今まで施行を至りと云ふ事不可能なります。

下水の面が完備されておりて、二つとも完備して  
後に施行して方才が良いと田舎者

議長 八番の出席を報します。

一三番 排水をきにした方がいいと田舎者が多く会いたいと  
意見検討されをうけたうえで、  
排水の面には、道路、維持面が、車がやまとと  
今、排水では車格の歩道を設置しても不完全  
であります。又現在の沂州歩道の形はありますうえで、  
暫定処置として、これ早急にトモカシマリと  
一三番 排水の方は車格の車と課長さんとでは排水が  
車格の車と問題にあるとウニしてあります。車  
に接するところに設置しておこう。

経理長 ニセニセ車格の車の走行をスムーズに、暫定的の  
歩道で排水がどうも満足に行かないふうと田舎者

一三番 車の排水を仰る場合、歩道を少し分けてある方  
法がうまうかどうか。

建設課長 は排水を仰くと車と並んで並んでお車をあす様にすれば、  
問題ないと思つ

議長 外に質疑の方であります人からおこなわれます  
田舎議会は、車と並んで並んでお車をあす様にすれば、  
御要議がござつて、質疑を打切りました。

一三番 本章は、済んで入ります。

一三番 交道より年々多くあると歩行者、安全の観点

生徒の通学道の面がうへて是是非必要である  
 尚又街の美化がうへて歩道、歩道がうへて  
 用意する所でモロ合意木造一棟販賣する  
 諸君頗るよき事  
**議長**  
 外よりナセん人かありゆく大浦町内  
 方々と田代モナシ  
 田代議事と呼ぶもナシ  
 御異議があり下付御了了せ  
 陳情オニ。十と表決にて  
 委員会本題一擇於すニシテ御田代議事  
 リナシ人ガ  
 田代議事と申す  
 御異議があり下付御陳情オニ。十と表  
 並に二三十。十指揮の歩道設置方陳情につき  
 委員会本題一擇於すニシテ決定付一擇  
 ク  
 日程中の陳情オの十字宣傳水道工事へ  
 神助金交付方陳情につきを審議と列  
 本年度終工事委員会に付託上審査ちお預け  
 マタリナシカ。別紙三通り終工事委員会  
 報告書りが參りて  
 事記載して調査せられ  
 経手手印押し、報告書と水道工事  
 終委員会付託されニシテ六月十七日は傳  
 本來ハソロ大日本ニロウ本會清口あり  
 当年

者、出席を求め、慎重ある審査の結果、別

紙、白金郵便を用ひ通しで下りて置く。

尚、又詳レシニとノゾムロハ林木の直距に古

頃、谷之引一三七

議長直距を水メヨリ

付帶尊見、中止に至るの半精ニヒタヘリ三七

不採択をする理由ではあつた。

規定カラリ、ミクニ思見ガタスウニ、モリを適用し

アリケ、又規定、ビウ雨日が過ぎであると決定する。

逕至事長研究、結果、当局と合意したが、当局がロヨニシテ

土木監督所へも記ハシテ車。

委員会ヒーには、土木監督がある以上、ヒニに計上すべ

キであると思フ。

一三番付帶尊見で云ふ、半精をミヒタルが、どう

一ツ採択せり。

經手ヒリ取をからずと、神助は出来ハシカガ、特殊ケ事

業未ヒリ、付帶尊見は、神助すベシであると。

一九番付帶尊見は、オーナー事、ヒロ、木メサウエイ

溝至事長付帶尊見ハ、付帶、合フシト。

一九、ニ事にあシテ、オーナー事、ヒロ、分ケニ有。

当初より拡大して、住民が負担を一歩けり出

来、未ハ、様子状況にあつて、力ス。

工事とまゝ陽合計画があつて建ち、ベヨリあらう。

一九番工事と進みて、負担が大きリで、神助ナーハシテ、

工事と進みて、負担が大きリで、神助ナーハシテ、

267

八番	問題にあつるのは、今後の工事にあつて、字全体で延長する二点が、可能かどうかと、從来の補助をする場合、事務面と監督との食連があるが、
村長	こゝと卓口と各様にかた解を得たことと思ひますか、前は建設課がやつかりにが、新しい水道課が改置され、特別会計の予算をしか持つふうで、どうの個々指導助言口出来未あつたと、
八番	これが正式に申請されてかられば、こゝの問題にはあらあがつたと、
三番	予算外の仕事として場合、補助の対象にあつて、甲請がありれば、対象にあつて、甲請か、
二番	直鶴湾の場合、延長でなければ、工事として、延長してある
議長	休憩約一時間(午後三時五三分)、雨間歇一時間(午後三時五三分)
"	直籠打切りの丸がたりの丸がたり。
"	異議ないと呼ぶも多し、
"	御異議がありもと認め、付箋を下す。
七番	討論を終めます。
七番	陳情、勧告がうつても、当然採択すべきであると思つております、本題に付箋を賛成します

九番 陳情の趣旨はアドバイスが補助をするところが多  
まつてありますのでどうかと困ります

又今何の問題にありますか? まずお聞きします

不賃或であります

八番 陳情業者を取扱ふことに从つて趣旨には賃味す  
まじ 村を通じて知りおかつて工事が補助され  
るにあつた

市町村運営に当り部落自体でやつて工事に付し  
補助を受けてから二回目でありうつ

又今何の問題に済をすまおこすですか? まずお会  
議に不賃或であります

七番 找の口済めに基づいて審査すべきであります

今何の問題と一つ口解釋をうながすります? まずお  
問題について引ひかれていくべきであります

会員本に賃或を

議長 時間を打切りにてお手

「車両会員通り林林すみに賃或の方」

「税金付ます」

「委員会業者(二名)多數につき陳情等四年  
度立候水道工事へ補助金交付方陳情に  
つては委員会業者通り採択するに決定  
到ります」

「平日三日當日二中を以つて全部終了しま  
す」

明治十九年十一月八日午後二時半